

昨今、文化財建造物がさまざまな災害によって被害を受けている。これらの災害から文化財建造物を守っていく必要があるだろう。そのためにはしっかりとした防災対策をし、もしも災害が起きた場合には迅速に対応し、復旧する手立てを考えていかなければならない。

令和二年十月一日には文化財防災センターが創設され、この問題に取り組む政府の専門機関が誕生した。また令和四年三月十一日には、文化財防災センター、日本建築学会、日本建築士会連合会、JIA（日本建築家協会）、土木学会が協定を結び、災害が発生した際に各団体が協力しつつ、速やかに適切な策を講じていくことが決定した。

しかし、検討すべき問題はまた山積みである。日本建築学会では、「文化財建造物防災体制検討特別研究委員会」が設置され、この問題に取り組もうとしている。そこで本シンポジウムでは、これまでの文化財建造物の被災調査ならびに復旧について振り返るとともに、その経験から考案された被災調査の手法についてまとめ、今後検討していかなければならない課題を整理する。



2022.10.2 (日)
13:30 - 17:00

参加申込方法：

※9/29(木)申込締切

下記URLまたはQRコードよりお申込みください。
後日、参加に関するご案内をメールにてお送りいたします。
<https://forms.gle/XZ1aFbBcSSYfbSow9>



開催方法：会場開催およびオンライン同時配信
※後日、録画映像の配信を予定しております

会場：①工学院大学 新宿キャンパス 28階
第4会議室(定員35名・先着順)
(東京都新宿区西新宿1-24-2)
②Zoomウェビナーを用いた同時配信

参加費：無料

主催：日本建築学会 文化財建造物防災体制検討特別委員会
本シンポジウムに関するお問合せ先：
東京家政学院大学 大橋竜太 (ohashi@kasei-gakuin.ac.jp)

プログラム：

- 趣旨説明
- 講演①
阪神淡路大震災後の文化財建造物の災害対応について
大橋竜太(東京家政学院大学)
- 講演②
東日本大震災の経験 —被災調査と歴史的建造物の復旧
永井康雄(山形大学)
- 講演③
熊本地震の経験 —被災調査と歴史的建造物の復旧
伊東龍一(熊本大学)
- 講演④
文化財防災センターの活動
小谷竜介(文化財防災センター)
- 講演⑤
現状の文化財防災の課題
後藤治(工学院大学)
- 討論

科研費
KAKENHI

本シンポジウムは、令和4年度科学研究費補助金「歴史的建造物の防災および災害復旧に関する研究」(基盤研究B)の成果の一部である。